

せいふくも 再び



と四月が一緒になっているものでした。三月二十日の欄には「高校合格発表日」、四月五日には「制服購入」、四月九日には「入学式」という文字と小さな花がぎっしりと書き込まれていました。

高校の先生は、入学式の翌日から教室に入った方がよいと考えました。そして、午後にもう一度家庭訪問をしました。英子さんに合いそうな大ききの制服をいくつか持って…。

家上がり、すぐに英子さんに試着してもらっているその時、部屋の入口のカレンダーに目が止まりました。三月

こうちょうしつ にゆうがくしき
校長室での入学式

四月十日の早朝、英子さんは母親とともに高校に向かいました。校長室で先生に囲まれて入学式が行われました。その後すぐに、彼女は自分の学級に向かいました。

こうして、高校進学をあきらめていた英子さんは入学することができました。

母親から聞いた話では、英子さんは制服をもらった後、家で何度も制服を着て、鏡に映った姿をうれしそうに見ていたということです。

一人の子の背景に思いをはせたことが、この取り組みにつながりました…。

